

情報公開文

研究名

超緊急帝王切開におけるシミュレーション導入と手術決定から児娩出までの時間 (Decision to Delivery Interval : DDI) に係る後ろ向きコホート研究

研究の目的・意義

超緊急帝王切開(Grade A Caesarian Section: Grade A-CS)とは、母児の救命のために可及的速やかに行う帝王切開であり、手術申し込み手続きや術前検査などといった他の要因を簡略化することで一刻も早い児の娩出を図るものです。適応となる疾患には常位胎盤早期剝離、臍帯脱出、持続性胎児徐脈、子宮破裂など、いずれも母児の生命危機に直結する疾患が挙げられ、諸外国の提唱では方針決定から胎児娩出までの時間(decision to delivery interval; DDI)は 30 分以内が望ましいとされています。当施設では、これらを踏まえ、安全で確実な Grade A-CS 運用のために、2014 年に Grade A-CS システムを導入し、DDI 15 分以内に設定にしたマニュアルを作成しました。また、システム導入以降、関係部署と共にマニュアルに沿ったシミュレーションを継続的に行い、Grade A-CS の質の維持を目指してきました。

そこで、当施設の Grade A-CS の質、すなわち「DDI 30 分以内」は勿論、当施設が定める「DDI15 分以内」という目標が担保されているか、さらなる改善点は何かを明らかにすることを目的として、後ろ向きコホート研究を行います。

研究の対象となる方と研究期間

対象期間は 2015 年 1 月から 2022 年 12 月までの 8 年間、対象となる方は Grade A-CS システムで手術が行われた患者さんです。

研究の実施体制

研究責任者：平山亜由子 仙台市立病院産婦人科 産婦人科医長

共同研究者：鈴木由佳 仙台市立病院産婦人科 医員

濱田裕貴 東北大学病院 産婦人科 講師

研究に用いる試料、情報の種類

診療録に記載された診療情報を用いた非侵襲・非介入の研究です。当科で管理する手術台帳より症例抽出を行い、診療録より年齢、妊娠分娩歴、手術成績、新生児予後などのデータを収集し、統計学的に解析を行います。また方針決定から胎児娩出までの時間を詳細に解析します。

利益相反

本研究に関して利害関係にある企業はございません。

お問い合わせ先

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院産婦人科

研究責任者：平山亜由子

共同研究者：鈴木由佳

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話：022-308-7111(代表)